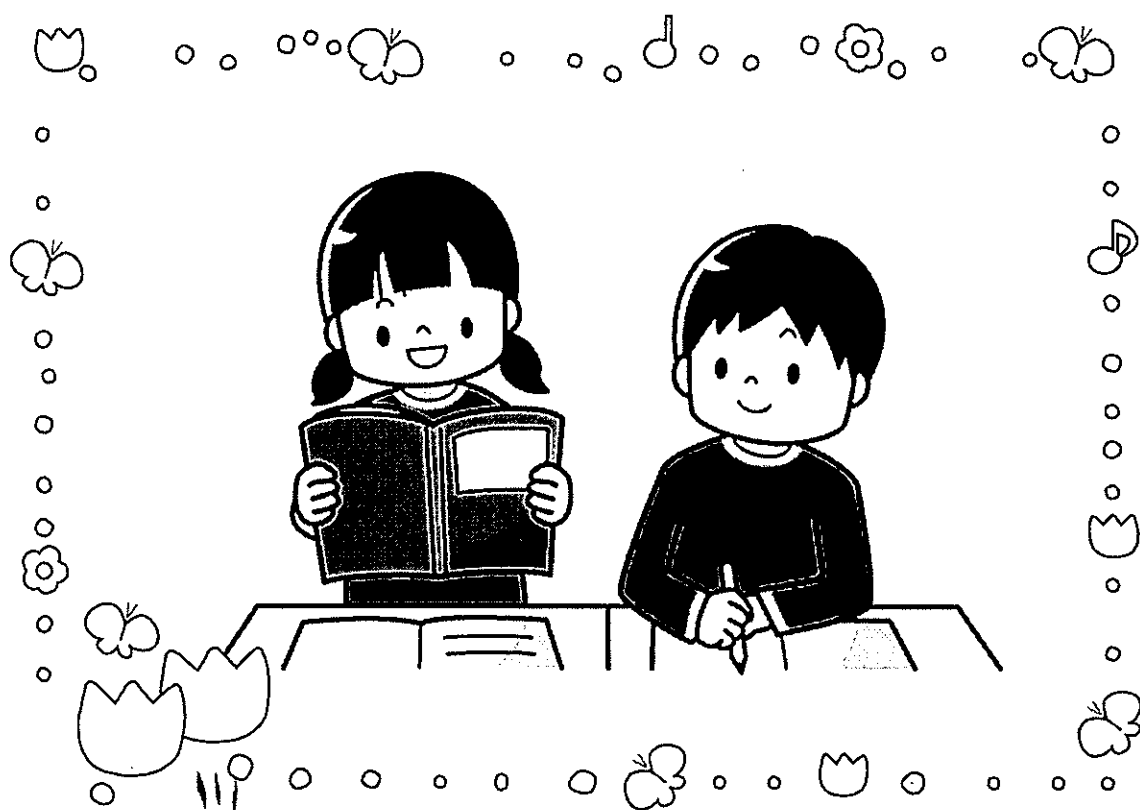


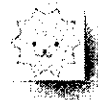
令和5年度

福生市特別支援教育の紹介



福生市教育委員会

特別支援教育とは？



特別支援教育は、児童・生徒一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばし、社会的自立を図り、地域の一員として生きていく力を育む教育です。

子どもたちには、一人一人異なった個性があり、成長の様子もそれぞれに違ってきます。一人一人が、“特別”な存在です。

全ての子どもが生き生きとした学校生活を送るためには、一人一人に応じた支援や教育が必要です。

**特別支援教育は
子どもの能力や可能性を
最大限に伸ばすことを
目指しています**



保護者のみなさまへ

お子さまの就学¹にあたってご心配があるとき、あるいは就学に際して特別支援学級等²を希望されるときに、この冊子を参考にいただければ幸いです。ご相談は、福生市教育相談室教育支援チームで、お受けしています。(23～24p) 電話 042-551-7700

¹ 小学校、中学校に入学することを「就学」と言います。

² 特別支援学級等には、「固定学級」、「特別支援教室」、「通級指導学級」があります。

特別支援学級とは？



特別支援学級とは、発達障害を含む障害のある児童・生徒一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばすために編成された少人数の学級です。

特別支援学級には、固定学級と特別支援教室・通級指導学級があります。

どちらの学級でも、一対一の個別指導やグループ学習等、子どもの実態に合わせた分かりやすい指導を行っています。

固定学級では、個別指導計画に基づき、一人一人の子どもの状況にあわせ、小集団でのきめ細かい指導を行っています。教材などを工夫し、全体指導のほか、グループ学習なども行います。

小・中学校の中の一つの学級として位置付けられており、諸行事等を通じ、日常的に通常の学級の子どもたちとの交流や共同学習を行います。

福生市の固定学級 3~16p

福生第一小学校 ひまわり学級 (知・固)

福生第二小学校 くまがわ学級 (知・固)

福生第六小学校 かめのこ学級 (情・固)

福生第一中学校 8組 (知・固)

福生第一中学校 9組 (情・固)



特別支援教室では、在籍学級の学習や生活に円滑に参加できることを目指し、週1時間~8時間の範囲で一人一人の課題にあわせ小集団や個別により指導を行います。児童・生徒は通常の学級に在籍し通級します。

市内小・中学校全校に特別支援教室に設置され、拠点校の教員が各校を巡回して指導を行います。

各教科の遅れ等を補充するための指導は行っておりません。

福生市の特別支援教室 17~20p

(情緒障害等)

・市内小学校全校

(拠点校：福生三小・福生五小)

・市内中学校全校

(拠点校：福生三中)



通級指導学級(言語障害)では、週1回60分~90分程度、一人一人のことばの課題(発音・吃音・ことばや読み書き)に合わせ、一対一の個別指導を基本として指導を行います。児童は通常の学級に在籍し、ことばの教室に通います。

福生市の通級指導学級 21~22p

(言語障害)

福生第七小学校 ことばの教室

福生第一小学校

福生市福生1055

ひまわり学級

電話 042-551-0046

1. 学級のあゆみ

昭和47年4月 福原学級として開級

昭和53年4月 ひまわり学級と改称

2. 学級種別

特別支援学級（固定・知的）

3. ひまわりの学級方針

●学校教育目標

○考えを深める子ども

○心豊かな子ども

○進んで体をきたえる子ども



教育目標を達成するため、より良い学級にするため

○考えを深める子ども：物事に関心や疑問をもち、より良い生活をしようとする児童を育てる。

【重点：日常生活に活用できる基礎的な学力の定着】

○心豊かな子ども：自分に自信をもち、仲間を認めて協力できる児童を育てる。

【重点：友達と仲良くする心】

○進んで体をきたえる子ども：進んで体力づくりに励み、元気に運動できる児童を育てる。

【重点：基本的生活習慣の定着】

4. 児童数（令和5年度5月現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男子	3	4	3	5	2	6	23
女子	0	1	2	0	1	0	4
合計	3	5	5	5	3	6	27

児童数	27名
担任	5名
講師	2名（週7時間）
指導補助員	5名（1日1～3名）

5. 年間行事（令和5年度）

	1学期	2学期	3学期
学校行事	入学式 遠足（1～4年） 社会科見学（4年） 日光移動教室（6年）	運動会 名栗自然教室（5年） 市音楽会（6年） 社会科見学（4・5年） 生活科見学（1・2年） 音楽会 音楽鑑賞教室（6年）	校内書初め展 市展覧会 社会科見学（3～6年） 6年生を送る会 体験英語（5年）
学級行事	宿泊学習		三校交流会

6 時間割

児童一人一人の発達段階に応じた内容とし、興味・関心・意欲を引き出しつつ伸ばしていく。そのために、グループ学習と全体学習の両方で取り組んでいる。

	月	火	水	木	金
1	日常生活	日常生活/図工	日常生活	日常生活	道徳
2	国語 (グループ)	国語 / 図工 (グループ)	生活単元	国語 / 音楽 (グループ)	算数 (グループ)
3	算数 (グループ)	図工/日常生活	体育 (校庭)	音楽 / 算数 (グループ)	国語 (グループ)
4	国語 (図書)	図工 / 算数 (グループ)	国語 (グループ)	体育 (体育館)	体育(校庭) or グループ
5	生活単元	音楽	クラブ 委員会	生活単元	日常生活/算数 (グループ)
6	総合	学活		生活単元	日常生活

7 教科の内容

日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・係の仕事（ハンカチティッシュ調べ・生き物・保健・配り等） ・今日の予定 ・日付調べ ・持ち物調べ ・歌 ・連絡帳記入
国語・算数 (グループ学習)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとにコミュニケーション、読む、書く、話す、数、計算、形など児童の学力に応じた課題に取り組む。
生活単元学習 (3年以上は一部、総合的な学習として行う)	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の事前・事後指導 ・季節や各月の行事に関連した内容の学習などを行う。 ・歩行学習。交通ルールを守りながら校外歩行をする。脚力をつけながら、豊かな自然に触れたり市内の公共施設を利用したりする。 ・作業学習。手指の巧緻性、集中力、持続力を付けるため、ピース通しや刺し子、牛乳パック切り等を行う。 ・畑での野菜作り。 ・野菜や草花の観察。 ・収穫した野菜の調理。 ・理学的内容の学習。身の回りの科学的現象を体験する。 ・社会的な内容の学習。身近な題材や興味関心を生かした事柄を学習する。 ・タブレット端末 (iPad) ・外国語活動

8 交流及び共同学習

児童の実態に合わせながら、授業、たてわり活動などで通常の学級との交流に取り組んでいる。遠足、運動会、社会科見学、儀式的行事は交流学級の中に入って参加している。

また、学級のことを理解してもらうため、1年生、4年生を対象にひまわりの担任が授業を行う。

1. 学級のあゆみ

昭和52年4月開級

2. 学級種別学級種別

特別支援学級（固定・知的）

3. 学級の教育目標

◎よく考える子（問題解決力）

集団生活のきまりを理解し、自ら考え、実行できる児童の育成

○思いやりのある子（人間関係形成力）

自分に自信をもち、他者と認め合い、協力し合える児童の育成

○体を大切にすること（心身の健康の保持増進）

物事に興味・関心をもち、進んで体を動かすことのできる児童の育成

4. 学級の基本方針

- (1) 児童が心身の成長への自己理解を深め、一人一人の発達や特性に応じた指導を行うために、個別指導計画および学校生活支援シートを作成する。
- (2) 集団における協働作業を大切に、自他の役割に気付き、協力し合える児童を育てる。
- (3) 日常生活の指導や宿泊学習などの集団で行う体験学習の中で、身の回りのことは自分で行う意識を育むとともに、身近に関するスキルを習得できるよう、丁寧に指導をする。
- (4) 多様な学習形態の工夫や、特別支援学校との交流、通常の学級との交流及び共同学習の充実によって、経験や視野を広げるとともに、共感的で肯定的に人と関わる力を育て、集団生活での基本的な態度、協調性、社会性等を育てる。

5. 児童数（令和5年4月現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男子	0	4	2	1	1	4	12
女子	0	0	0	1	0	0	1
合計	0	4	2	2	1	4	13

児童数	13名
担任	3名
講師	2名（週6時間）
指導補助員	3名（1日1～2名）

6. 年間の主な行事（令和5年度）

	1学期	2学期	3学期
学校行事	入学式 始業式 1年生を迎える会 遠足（1・2年） 遠足（3年） 日光移動教室（6年） 社会科見学（6年）	運動会 音楽会 名栗自然教室（5年） 生活科見学（1・2年） 社会科見学（3～5年）	社会科見学（4年） 6年生を送る会 修了式 卒業式
学級行事	社会見学（八王子）	宿泊学習（八王子）	三校交流会 卒業・進級を祝う会

* 通常の学級の移動教室、遠足、社会科見学や、運動会の練習などにも一緒に参加します。

7. 時間割および学習内容

	月	火	水	木		金
				低学年	高学年	
朝	朝学習	朝会/集会	朝学習	朝学習		朝読書
1	朝の会 日常生活の指導	朝の会 生活単元学習	朝の会 日常生活の指導	朝の会 生活単元学習		朝の会 日常生活の指導
2	体育	音楽	国語 (グループ学習)	体育		音楽
中 休 み						
3	国語 (グループ学習)	国語 (グループ学習)	体育	図工	道徳	算数 (グループ学習)
4	算数 (グループ学習)	算数 (グループ学習)	算数 (グループ学習)	図工	生活単元 学習 (SST)	国語 (グループ学習)
給 食 ・ 清 掃 ・ 昼 休 み						
5	生活単元/総合 (作業学習)	外国語/生活単元	学活	道徳	図工	図書
6	生活単元学習 (理科的学習) (社会的学習)	総合	生活単元学習 (調べ学習)	生活単元 学習 (SST)	図工	クラブ/委員会
授業	1~3年：5時間 4~6年：6時間	1・2年：5時間 3~6年：6時間	1~4年：5時間 5・6年：6時間	1・2年：5時間 3~6年：6時間	1年：4時間 2・3年：5時間 4~6年：6時間	

8. 学習の内容

日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ、出席調べ、予定や献立の確認、日課表の記入 係活動（生き物の世話、出席調べ、予定黒板作成） 身の回りのことに関する様々な指導
国語・算数 グループ学習	<ul style="list-style-type: none"> ※学習進度に合わせて、3つのグルーピングをしている。 国語：文字の読み書き、音読、聞き取り、カルタなど 算数：具体物を使用した数の学習、お金の学習、四則計算など
個別学習	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの学習進度に合わせた課題（具体物、プリントなど）
生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊学習などの行事の事前、事後学習 社会性を伸ばす学習 畑での栽培・収穫作業、買い物学習、調理 手芸、木工など作業学習 季節や年中行事に合わせた学習、遊びの指導 理科、社会科、家庭科、保健(4~6年)の内容を取り入れた学習
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> パソコンや学習用 iPad の操作 調べ学習
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身に関すること、集団や社会との関わり、生命尊重
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> 外国の言語や文化に親しむ

*学習活動全般で、学習用 iPad を活用している。

*学期に2回程度、英語教育指導員（ALT）による外国語活動を実施している。

*音楽、図工は講師が指導を行っています。

9. 交流及び共同学習

同学年の通常の学級を“なかよし学級”としています。その“なかよし学級”に一員として加わり、交流学習を積極的に行っています。

- ・運動会などの行事や校外学習、なかよし学級での給食交流
- ・集会、クラブ、委員会、縦割り班活動など

福生第六小学校

福生市加美平 1-9-1

かめのこ学級

電話 042-551-0753

1. 学級のあゆみ

平成29年4月 開級

2. 学級種別

特別支援学級（自閉症・情緒障害）

3. 学級の教育目標

○教育活動全体を通して児童の心身の発達を促し、人との関わりを通して、情緒の安定や自己受容、自己肯定感を育成する。

○障害の特性や状況に配慮し、学校や地域で生活できる児童の発達を促す。

○社会で自立するための基本となる知識や技能、社会性、コミュニケーション能力、生活習慣や言語能力を習得させる。

4. 学級の基本方針

(1) 個々の児童の発達状況や障害の特性に応じた個別支援・指導計画を作成し、意図的・計画的かつ継続的な指導を行い、その成果や課題を的確に評価して次の指導に生かすとともに、保護者と協力しながら児童の成長発達を促す。

(2) 児童の健康・安全に十分留意するとともに、命や心身の健康を守るために、安全な環境づくりに取り組む。また、安全指導や各種訓練を確実に実施し、児童の安全意識、対応能力を培う。

(3) 通常の学級との交流および共同学習の充実を図り、互いのよさを認め合う豊かな人間関係の形成に取り組むとともに、自己の成長に気付かせ、自己肯定感を高める。

5. 児童数（令和5年4月現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男子	2	3	1	4	2	5	17
女子	0	2	1	1	0	0	4
合計	2	5	2	5	2	5	21

児童数	21名
担任	4名
指導補助員	3名

6. 年間行事（令和5年度予定）

	1学期	2学期	3学期
学校行事	入学式/始業式 消防写生会 遠足 日光移動教室 水泳指導 終業式	始業式 進路を考える会 名栗自然教室 運動会 社会科見学 展覧会 終業式	始業式 書写展 六小まつり 市展覧会 6年生を送る会 修了式 卒業式

7. 時間割

	月						火						水						木						金					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	自立	自立	自立	自立	自立	自立	国語	道徳	図工	算数	自立	家庭科	国語	国語	国語	理科	算数	国語	国語	国語	国語	音楽	理科	国語	国語	書写	国語	理科	国語	算数
2	体育	国語	算数	社会	社会	外国語	図工	生活	図工	国語	体育	家庭科	体育	算数	社会	音楽	国語	算数	算数	音楽	社会	社会	理科	算数	体育	算数	算数	理科	体育	国語
3	算数	算数	体育	総合	体育	算数	音楽	体育	理科	体育	音楽	自立	国語	音楽	算数	自立	理科	図工	図工	体育	自立	算数	図工	外国語	音楽	体育	理科	国語	算数	
4	国語	図工	音楽	外国語	国語	体育	自立	国語	算数	学活	社会	社会	生活	図工	体育	体育	道徳	図工	道徳	算数	算数	道徳	図工	体育	算数	国語	理科	自立	学活	
5	学活	学活	国語	総合	外国語	総合	算数	自立	総合	図工	算数	国語	生活	生活	自立	算数	国語	社会	図書	図書	図書	図書	外国語	理科	自立	自立	音楽	体育	家庭科	
6				クマ	クマ	クマ		国語	総合	図工	国語	体育										体育	総合	算数				理科		

8. 教科の内容

自立活動	<p>以下の6項目のうち児童に必要な内容に関連付けた指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持 ・心理的な安定 ・人間関係の形成 ・環境の把握 ・身体の動き ・コミュニケーション
教科学習	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科 ・社会科 ・算数科 ・理科 ・生活科 ・音楽科 ・図画工作科 ・家庭科 ・体育科 ・特別の教科道徳 ・外国語・外国語活動 ・総合的な学習の時間 ・特別活動

9. 交流及び共同学習

児童の実態に合わせながら、日常的に教科の授業、朝会、給食等で通常の学級との交流に取り組んでいる。また、遠足、運動会、縦割り班活動、社会科見学、儀式的行事等の学校行事は、交流学級の中に入って参加することを基本としている。

福生第一中学校 8組

東京都福生市大字熊川845番地

電話 042-551-0321 FAX 042-530-7447

1 学級のあゆみ

昭和51年4月1日 特別支援学級創設

2 学級種別

特別支援学級（固定・知的）

3 学級の教育目標

一人一人の自立を目指し

◎正しく判断し、行動しよう

（規則正しい生活習慣や行動を身に付け、将来自立した生活ができる生徒の育成：「思考力・判断力・表現力」）

○体を鍛え、自分の気持ちを伝え、協力しよう

（健康・体力の向上を目指し、自分も他者も大切にしながら、思いやりと豊かな人間関係を広げられる生徒の育成：「人間関係形成力」）

○自分のため、目標に向かってよく考え、努力して、将来社会に役に立つ人になろう

（自ら考え、目標を設定し、その目標に向かって努力する生徒の育成：「課題解決力・実践力」）

4 学級の基本方針

- (1) 社会参加に必要な日常生活の知識と技能の習得を図る。
- (2) 社会参加に必要な基礎的・基本的学習内容の定着を図る。
- (3) 生徒一人一人の特性に対する理解を深め、ニーズに応じた個別支援を行う。
- (4) 三年間を見通した学校生活支援シート及び個別指導計画を基に関係諸機関と連携してキャリア教育（進路指導）を進める。

5 生徒数

学年	1年	2年	3年	合計
生徒数	5	11	9	25

（令和4年4月1日現在）

生徒数	25名
担任	6名
講師	4名（週12時間）
指導補助員	3名

6 年間行事（令和4年度） ※変更の場合あり

	1学期	2学期	3学期
学校行事	始業式（4/6） 入学式（4/7） オーケストラ鑑賞教室（4/21） 生徒総会（5/12） 体育祭（5/27） 夏季保護者面談（7/24～）	始業式（8/29） 道徳授業地区公開講座（9/16） 校外学習1年（9/8） 修学旅行（10/9～11） 2年職場体験（9/13～15） マラソン大会（10/5） 合唱コン（10/26）	始業式（1/9） 1年スキー教室 （1/19～21） 劇と音楽の会（2/10） 主張大会（3/4） 卒業生を祝う会（2/21） 卒業式（3/19）
学級行事	球技大会（6/23） 宿泊学習（7/5～6） 終業式（7/20）	終業式（12/25）	

7 時間割および学習内容

金	木	水	火	月				
音楽	数学	英語/社会	国語	学活	8:50~9:40			
音楽	体育	国語	数学	体育	9:50~10:40			
理科/英語	音楽	家庭	美術/作業	数学	10:50~11:40			
社会/理科	音楽	家庭	美術/作業	国語	11:50~12:40			
					12:40~13:30			
体育	書写	道徳	体育	作業/美術	13:30~14:20			
学年総合	日常生活		総合	作業/美術	14:30~15:20			

国語・数学・・・授業到達度別に国語4グループ、数学4グループに分けて、適宜1名の指導者がついて週3~4時間授業を行います。

社会・英語・理科

・・・2グループ(12~13名程度の集団)に分かれて、それぞれ2名の指導者がついて地理歴史、知識一般、興味ある題材を使用して授業を行います。英語では身近な言葉を英語で表現することや、簡単な英会話活動を行います。作業・・・2グループ(12~13名程度の集団)に分け、清掃作業を行います。班長を中心に「指示書」通りに作業分担・準備・片付け、反省を「作業日誌」を利用して班活動を進めていきます。作業的スキルを学ぶ学習です。

美術・・・2グループ(12~13名程度の集団)に分け、班体形により班長/係分担当を組織しながら表現活動を行います。合同展示会や校内展示会の実施。

書写・・・週1時間、読字・識字訓練、硬筆・毛筆、作文、一人一人の課題に対して落ち着いた雰囲気と姿勢維持、集中力を高める授業を行います。

日常生活指導・・・週に1回、中集団(学年ごと)で、生活の見直し、身だしなみチェック姿勢/運動、挨拶・返事・報告・読書、日課帳点検など及び社会性の学習(SS

T)、行事に関する事前学習を行います。

道徳・・・2グループ(12~13名程度の集団)に分かれて、道徳では様々な題材を使って、集団に関わることや自分自身に関することについて考える授業を行います。

家庭・・・週2時間、手芸や裁縫などに取り組み、作品を仕上げます。

8 交流及び共同学習

学校行事には、8組全員が通常の学級(交流学級)に副籍を置き参加しています。また、学年行事等(事前・事後学習、学年集会)にも積極的に参加し、共に協同・交流学習をしています。生徒会活動も、美化委員会・給食委員会・保健委員会活動に参加及び活動をして頑張っています。教科学習の交流はしていません。特別支援学級の交流として、市内の小学校(ひまわり学級、くまがわ学級)と定期的に交流会を実施しています。多摩地区特別支援教育研究会行事、「球技大会」、「マラソン大会」、「劇と音楽の会」にも取り組んでいます。

8組のようす

全員が通常の学級に副籍を置き、行事での交流を行っています。

授業風景



行事風景

宿泊学習



体育大会



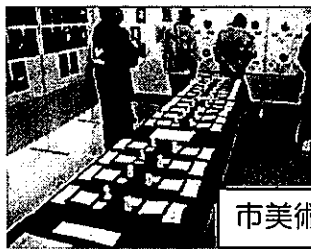
球技大会



マラソン大会



市美術展



修学旅行



主張大会



劇と音楽の会

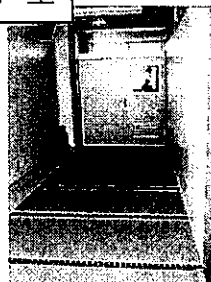


8組施設

新
校
舎

1階》普通第一教室・職員室・
生活室・和室・工作室
2階》音楽室 普通第三教室
普通第二教室・調理室

和室



生活室



普通教室



部活動

(令和4年度)

8組生徒もトレーニング部などに入部して、頑張っています。



女子ソフトボール部
男子ハンドボール部
ソフトテニス部
トレーニング部
男子バスケットボール部
女子バスケットボール部



剣道部
野球部
陸上部
サッカー部
女子バレーボール部



科学部
美術部
箏曲部
家庭科部
吹奏楽部

8組Q&A

Q1 今年度8組には何人の生徒が在籍していますか？

A 1年生5名、2年生11名、3年生9名の25名が在籍しています。

Q2 8組の生徒はどのように通学していますか？

A 学区内の生徒は徒歩で、学区外の生徒は電車通学をしています。

Q3 8組はどのように授業を行っているのですか？

- A
- ・国語(週3時間) 小グループ到達度別(4グループ)
 - ・社会(週1時間) 中グループ(2グループ)
 - ・数学(週3時間) 小グループ到達度別(4グループ)
 - ・理科(週1時間) 中グループ(2グループ)
 - ・英語(週2時間) 中グループ(2グループ)
 - ・音楽(週4時間) 全員
 - ・美術(週2時間) 中グループ(2グループ)
 - ・体育(週4時間) 全員
 - ・書写(週1時間) 全員
 - ・家庭(週2時間) 全員
 - ・道徳(週1時間) 全員・学年別
 - ・日常生活指導(週1時間) 主に、学年別
 - ・総合的な学習の時間(週1時間) 全員
 - ・学年別総合的な学習の時間(週1時間)(学年別)
○琴/百人一首(古典芸能) ○図書館(公共機関利用) ○発表(調べ学習)
 - ・作業(週2時間) 中グループ・班活動(2グループ)
 - ・学活(週1時間) 全員
- (自立活動においては、教育活動全般にておいて指導しています)

Q4 通常の学級の授業を受けることができますか？

A 8組の生徒全員が通常の学級に副籍を置きますので、生徒本人と保護者の希望と調整により、交流学級での行事に参加することができます。教科学習には参加していません。

Q5 宿題はありますか？

A 毎回の授業のまとめ・復習、家庭学習のために、週の終わりに課題を出す場合があります。長期休業中（夏・冬）は、全員にグループ別に宿題を出しています。

Q6 部活動に入ることはできますか？

A 希望する部に入ることができます。今年度はトレーニング部、バスケットボール部、美術部などに参加して一生懸命に活動しています。

Q7 職場体験は行っていますか？

A 2年全員対象で3日間職場体験を行います。
（自動車整備工場・図書館・老人ホーム、コジマ電気、他）

Q8 通常の学級との交流は行っていますか？

A 学校行事は8組として全員が参加しています。学年行事等（事前、事後活動も含め）は、生徒本人及び保護者の希望と調整にて参加できます。委員会・係活動においても、生徒会活動の生徒朝礼発表と美化・保健・給食委員会活動に参加し頑張っています。

Q9 8組独自の行事はありますか？

- A
- ① 卒業生を祝う会（ひまわり学級・くまがわ学級・8組）
 - ② 宿泊活動（静岡県御殿場市国立中央青少年交流の家）
 - ③ 多摩地区特別支援教育研究会行事
 - ・1学期 球技大会（バスケットボール）
 - ・2学期 マラソン大会（昭和記念公園）
種目1000m、2000m～3000m
 - ・3学期 劇と音楽の会（令和元年度「ハンドベルと合唱」発表）

Q10 特色ある学習活動はありますか？

A 到達度テストを実施。国語・数学・英語・社会・理科5教科、授業内範囲で1学期（1回）2学期（2回）3学期（1回）到達度80%を目指して授業・家庭学習に日々努力しています。また、テスト期間中に、特別支援学級独自問題「数学検定」を実施しています。特級～11級検定合格に向けて、生徒一人一人が真剣に取り組んでいます。

Q11 8組の生徒はどのような進路先に進んでいますか？

A 過去3年間の進路先は、羽村特別支援学校、青峰学園就業技術科、都立学校（チャレンジ校、エンカレッジ校）、私立サポート校です。

福生第一中学校 9 組
 福生市熊川845 電話 042-551-0321

1 学級のあゆみ

平成30年4月1日 特別支援学級創設

2 学級種別

特別支援学級（自閉症・情緒障害）

3 学級の教育目標

- ◎情緒の安定を図り、豊かな人間性や社会性を養い、自立する力を育てる。
 （「思考力・判断力・表現力」）
- 自己理解を促し、自尊感情を高めるとともに、自他を大切にできる心情を育てる。
 （「人間関係形成力」）
- 基礎学力、基本的な生活習慣を身に付けさせ、自ら学び行動する力を育てることで、自ら地域や社会のために貢献する力を育てる。（「課題解決力・実践力」）

4 学級の基本方針

- (1) 学習に対して前向きに取り組めるようにし、基礎的基本的な学力を定着させる。
- (2) 自分の良さを伸ばすとともに相手を思いやる心を育て、基本的な生活態度、生活習慣を身に付けさせる。
- (3) 社会性を身に付け、状況に応じた言動ができるようにする。
- (4) コミュニケーション能力を育て、より良い人間関係を築く。

5 生徒数

学年	1	2	3	合計
生徒数	4	5	3	12

(令和5年4月現在)

生徒数	12名
担任	3名
講師	1名
指導補助員	4名

6 年間行事（令和5年度） ※変更の場合あり

	1学期	2学期	3学期
学校行事	入学式（4/7） 生徒総会（5/12） 体育祭（5/27） 期末テスト（6/21～23） 三者面談（7/24～）	職場体験2年 （9/13～9/15） 中間テスト（9/27.28） 修学旅行3年 （10/9～10/11） 合唱コンクール（10/26） 期末テスト（11/14～16）	校外学習2年（1/12） スキー移動教室1年 （1/19～21） 学年末テスト（2/26～28） 意見主張大会（3/5） 卒業式（3/19）

7 生活時程及び授業内容

令和4年度 生活時程

時 程	月	火	水	木	金
8:25	登校				
8:25~8:35	朝読書・朝学習				
8:35~8:40	学活				
休み時間 8:40~8:50					
8:50~9:40	学活	①	①	①	①
休み時間 9:40~9:50					
9:50~10:40	②	②	②	②	②
休み時間 10:40~10:50					
10:50~11:40	③	③	③	③	③
休み時間 11:40~11:50					
11:50~12:40	④	④	④	④	④
12:40~13:10	給食				
13:10~13:25	昼休み				
13:25	予鈴(着席)				
13:30~14:20	⑤	⑤	道徳	⑤	⑤
休み時間 14:20~14:30			14:25		
14:30~15:20	⑥	総合	学級活動	⑥	総合
15:25~15:35	学活		14:35	学活	学活
15:35~15:45	清掃		清掃	清掃	清掃
15:50	下校		14:50	下校	下校
			下校		

授業内容

- ・通常学級と同じ教科等(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭科、英語、特別の教科道徳、総合的な学習の時間、学級活動)を学習します。

自立活動

- ・情緒の安定、自己理解、感情や行動のコントロール、コミュニケーション能力の向上等、コミュニケーション力の向上と自己のコントロールの伸長と豊かな人間関係を築くため、生徒の一人一人の状態、発達段階に基づき、個別又は小集団でソーシャルスキルトレーニング等を実施しています。

8 交流及び共同学習

- ・交流学級を設定し、各教科の授業や行事を通じて交流を図ります。
- ・授業は年度当初に交流学級を決定し、保護者や生徒の話の内容、また生徒の状態・課題に応じて時間割を決定しています。
- ・朝礼、学年集会、各儀式的行事、委員会活動、部活動等、交流を図ります。行事は基本的に通常学級に準じ、交流学級を通じて参加しますが、生徒の特性や状態、課題に応じて参加の有無や参加の形態を検討します。

9組Q&A

Q1 今年度9組には何人の生徒が在籍していますか？

A 3年生3名、2年生5名、1年生4名、合計12名が在籍しています。

Q2 9組の生徒はどのように通学していますか？

A 学区内の生徒は徒歩で、学区外の生徒は電車通学をしています。

Q3 9組はどのように授業を行っているのですか？

A 交流学級で受ける授業と9組で受ける授業があります。交流学級で授業を受ける際には、支援をする職員が必ず着いていき、必要に応じてサポートをします。

Q4 宿題はありますか？

A 教科ごとに宿題が出る場合があります。

Q5 部活動に入ることはできますか？

A 希望する部に入ることができます。

Q6 職場体験は行っていますか？

A 2年全員対象で3日間職場体験を行います。

Q7 通常の学級との交流は行っていますか？

A 授業、学年集会、各行事、委員会活動、部活動等、多くの場面で交流を図っています。

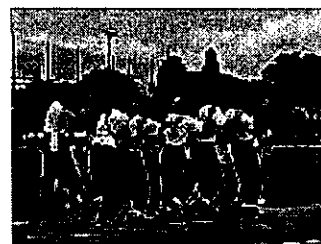
9組の様子



通常級での授業の様子



9組授業の様子



行事への参加

小学校 特別支援教室（市内小学校全校）

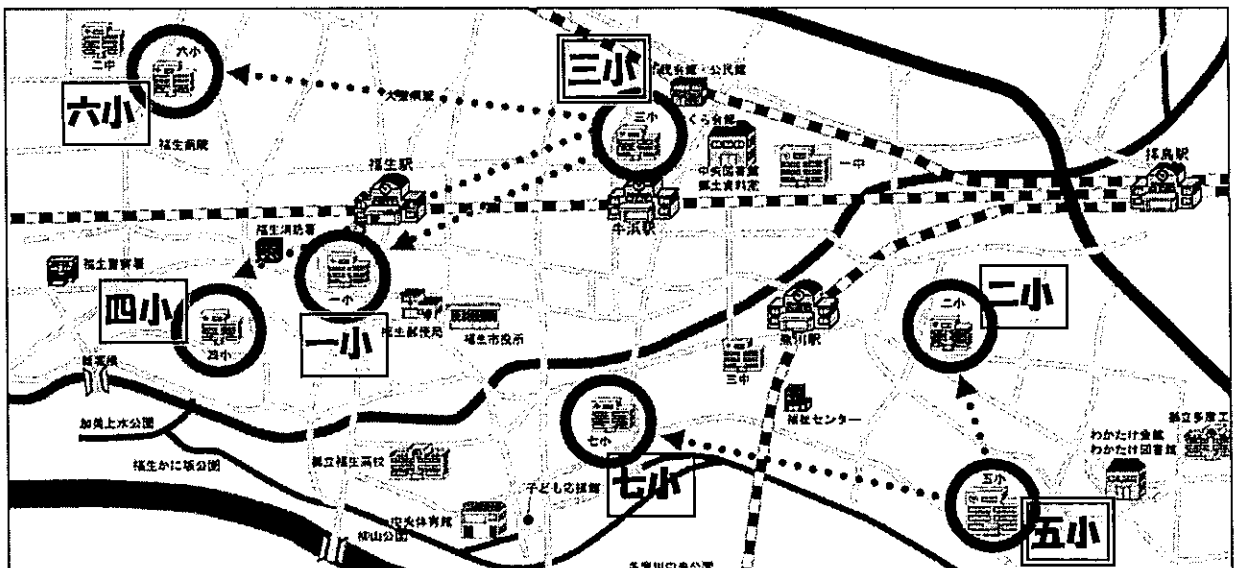
1 特別支援教室とは

特別支援教室では、通常の学級に在籍している発達に課題のある児童が、原則1年間の指導期間において、在籍校で必要な指導・支援を受けることができます。

2 拠点校と巡回校

福生市立小学校を福生地区と熊川地区の二つのグループに分け、福生地区は福生第三小学校、熊川地区は福生第五小学校を拠点校として、拠点校からグループ内の各校（巡回校）に行き、指導を行います。

グループ	拠点校／巡回校
やまなみ教室	福生第三小学校（拠点校）
	福生第一小学校
	福生第四小学校
	福生第六小学校
かわせみ教室	福生第五小学校（拠点校）
	福生第二小学校
	福生第七小学校



3 対象となる児童

通常の学級に在籍し、知的障害はないが、「自閉症」、「情緒障害」、「学習障害（LD）」、「注意欠陥多動性障害」があって、通常の学習に参加でき、一部、特別な指導を必要とする児童が対象です。

自閉症

円滑な人間関係が築けない、周囲の人が考えていることの推測が苦手等の発達の偏りが見られ、一部特別な指導を必要とする程度のもの

情緒障害

主として心理的な要因による選択制かん黙等があるもので、一部特別な指導を必要とする程度のもの

学習障害（LD）

聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難があり、一部特別な指導を必要とする程度のもの

注意欠陥多動性障害（ADHD）

年齢あるいは発達に不釣り合いな不注意や衝動性、多動性の状態等があり、一部特別な指導を必要とする程度のもの

このようなお子さんを支援しています

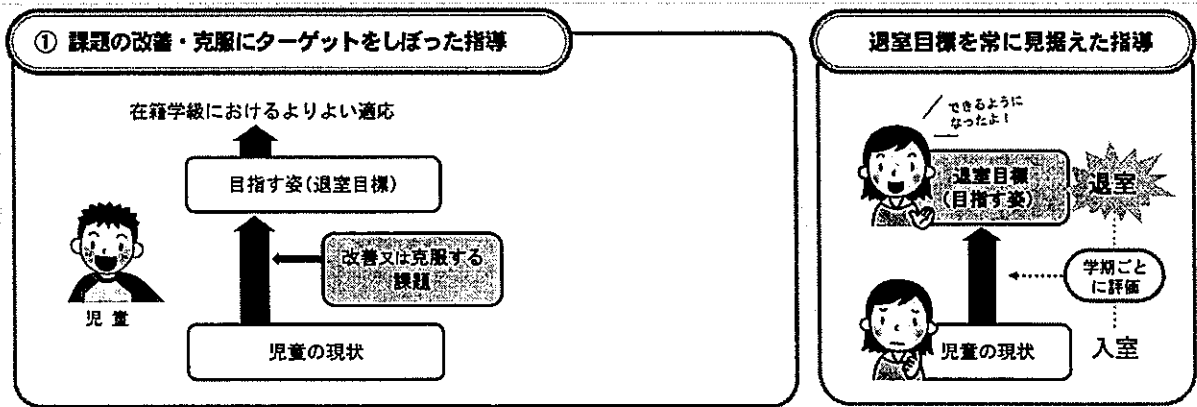


4 指導内容について

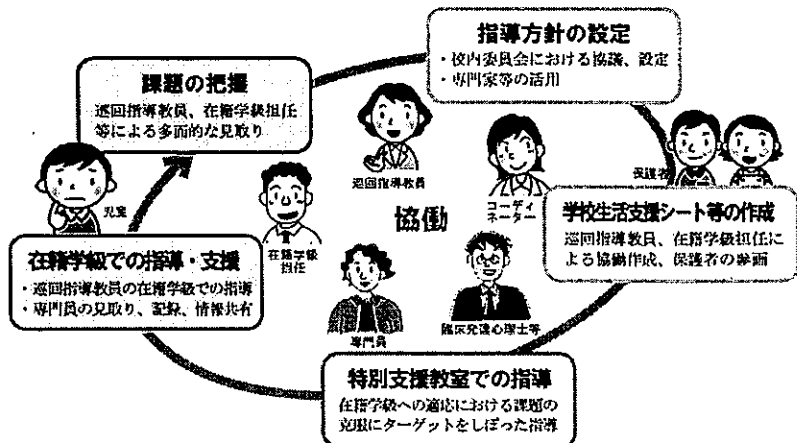
特別支援教室では、教員が児童の在籍校へ巡回し指導を行い、「在籍学級におけるよりよい適応」を目指して、**必要な児童に**、**必要な期間**、**必要な指導**を行います。

特別支援教室の指導内容は、「自立活動」です。児童の実態や改善又は克服する課題に応じた指導や、必要に応じて教科の内容を取り扱いながら自立活動を行います。

児童が抱える困難さや課題の改善・克服をターゲットとした指導を必要な期間行うもので、退室目標を常に見据えた指導を行います。



また、巡回指導教員と在籍学級担任が協働して、在籍学級における対象児童の実態を踏まえて作成された「学校生活支援シート」や「個別指導計画」を有効に活用し、指導を行います。



中学校 特別支援教室（市内中学校全校）

特別支援教室とは

特別支援教室では、通常の学級に在籍している発達に課題のある生徒が、原則1年間の指導期間において、在籍校で必要な指導・支援を受けることができます。

制度上は小学校と変わりありませんが、中学校では、中学生の発達段階を踏まえた指導を行っています。

拠点校と巡回校

小学校に次いで、令和2年度より市内3校全ての中学校で特別支援教室における指導が開始されました。当初、第一中学校、第二中学校が拠点校で、第三中学校が巡回校でしたが、令和5年度より福生市は一校拠点制を採用、第三中学校が拠点校となり、第一中学校、第二中学校がその巡回校となりました。

拠点校の変更に伴い、教室の名称も、全中学校で「せせらぎ教室」となりました。

せせらぎ教室

拠点校：福生第三中学校
巡回校：福生第一中学校
福生第二中学校

対象となる生徒

※小学校特別支援教室のP17「3 対象となる児童」もあわせてご参照ください

知的な遅れはなく、「自閉症」「情緒障害」「学習障害（LD）」「注意欠陥多動性障害（ADHD）」があって、通常学級の学習におおむね参加することが可能で、一部特別な指導を必要とする生徒が対象です。例えば、中学校の場合…

- 学校、学級などの集団の中で、対人関係がうまくもてない、コミュニケーションがうまくとれないなど、適応できないことがある。
- 一定の事柄や行動に対してこだわりが強いことで、困ることがある。
- 注意力が散漫。身体がよく動いてしまうなど落ち着きがない。
- 知的には遅れはないが、読む、書く、聞く、話す、計算する、または推量するなどの学習の能力に偏りがある。特定の学習の定着に困難さが見られる。
- 集団の中で緊張してしまう。感情や行動のコントロールが難しいことがある。
- 悩みや心配が多いなど、情緒的に不安定なことがある。
- その他情緒面において困難があり、個別の指導が必要である。 など

指導の重点

(1) 学校生活上の困難に対する支援

- 状況に応じた他者とのコミュニケーション力や、状況を理解し変化に対して適切に対応する力を育成します。
- 本人に合った適切な課題を設定し、成功体験を積み重ねることで、意欲的に学校生活を送れるようにします。
- 特性に合った学習方法の獲得を促し、学習意欲を高め、学習習慣を身に付けさせます。

(2) 自己理解や進路選択に対する支援

- 自己の特性を理解し受け止める力を育成します。その上で、将来の目標をもって進路を自己決定する態度を育てます。

指導内容・指導方法

- * 拠点校から巡回指導教員が、生徒のいる在籍校へ巡回して指導を行います。
- * 指導内容は「自立活動」です。

自立活動とは… 学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な、知識・技能・態度・習慣に関する指導。

- * 指導にあたっては、「指導目標」（目指す姿）を設定し、目標達成を見据えた指導を行います。
- * 月1単位時間～週8単位時間の範囲で曜日を決めて通室し、個別指導・小集団指導を実施します。
- * 指導目標が達成された場合は、「指導の終了」となります。
- * 指導期間は原則1年間です。ただし、指導目標の達成状況によっては、次年度も指導が延長することについて検討することがあります。
- * 小学校と同様に、巡回指導教員と在籍学級担任が協働して、「学校生活支援シート」（1年間）と「個別指導計画」（毎学期）を作成し、これらの内容を共有しながら、同じ目標を見据えて指導していきます。

小学校 通級指導学級(言語)

ことばの教室は、言語面に課題のあるお子さんへの指導を行っています。ここでは通常の学級に在籍したまま、週に1回程度、一人一人のニーズにあった教育支援を受けることができます。

ことばの教室 福生第七小学校
福生市北田園一丁目1番地1号
電話 042-513-7233

ことばの教室について

- 小学校1年生から6年生までのお子さんが対象です。
- 普段は在籍の学級で学習し、週1回60～90分程度、ことばの教室で指導を受けます。通う曜日や時間は、保護者の方や担任の先生と相談して決めます。
- ことばの教室に通級している時間は、在籍学級では出席扱いになります。
- 一対一の個別指導が基本となります。
- 事故防止や指導内容を理解していただくために、保護者の付き添いをお願いしています。ただし、福生第七小学校に在籍しているお子さんの付き添いは必要ありません。

対象となるお子さん

<ことばや読み書きの発達がゆっくりなお子さん>

- 話している内容が相手に伝わりにくい。
- ことばでのやりとりが苦手。
- ことばの数が少ない。
- 文法的に誤った表現をする（助詞を誤ったり、受動文を間違えたりする等）。
- 文章の読み方がたどたどしい。
- 促音や長音を脱落させたり、間違えた位置に書いたりする（「ス Copp」を「スコブ」「スッコブ」、プールを「プル」と書く等）。
- 漢字の読み書きが苦手。

<発音の発達がゆっくりなお子さん>

- ある音が違う音に置き換わってしまう（せんせい→しえんしえい、ライオン→ダイオン）。
- 発音に癖があり、シがヒに近い音に聞こえたり、キがチに近い音に聞こえたりする。
- 発音がはっきりせず、何を言っているか分かりにくい。

<吃音のあるお子さん>

- 「・・・ほくね」のように、はじめのことばが出ない。
- 「ぼ、ぼ、ほくね」のように、音を繰り返す。
- 「ほーくね」のように、音を引きのばす。

指導内容の例

＜ことばや読み書きの発達がゆっくりなお子さんへの指導＞

- 理解したり表現したりできることばの数を増やします。
- 自分で考えたことを、ことばで表現できるようにします。
- お子さんに合った方法を見つけ、読み書きの力がつくように支援します。

＜発音の発達がゆっくりなお子さんへの指導＞

- 正しい音を聞き分ける力を高めます。
- 舌を思った通りに動かせるように指導します。
- 舌の正しい位置を教え、正しい発音が身に付くようにします。

＜吃音のあるお子さんへの指導＞

- 吃音について正しい理解が深まるように指導します。
- 吃音のことで困ったときに対処できるようにします。
- 吃音が一時的に出にくくなる話し方の指導を行います。
- 必要に応じて、在籍学級で吃音理解授業を行います。

指導時間

- 1 枠(8:40~10:10)、2 枠(10:45~12:15)、3 枠(13:30~15:00)、4 枠(15:15~16:45) に指導を行っています。ただし、火曜2~4 枠、水曜2 枠、金曜2 枠は指導を行っていません。
- 水曜日の3 枠、4 枠は教員の研修等の関係上、指導回数が少なくなる場合があります。
- 低学年のお子さんには、集中して学習に取り組めるように、できるだけ午前中の時間をおすすめしています。

教室内時程		月	火	水	木	金
8:40	1 枠	指導	指導	指導	指導	指導
10:10 10:45	2 枠	指導	担当者会議 ケース会議	ことばの アセスメント	指導	アセスメント会議 教室内研修
12:15 13:30	3 枠	指導	都難言協	指導	指導	指導
15:00 15:15	4 枠	指導	都難言協	指導	指導	指導
16:45						

福生市教育相談室

教育支援チーム(つむぎ)のご案内

小学校・中学校の入学等にあたって、お子さんの学習面・行動面・集団生活への適応等で、不安や心配を感じられている保護者の方は、是非ご相談ください。



対象：来年度小学校・中学校へ入学予定のお子さん
申し込み：保護者が直接福生市教育相談室へ電話してください。
内容：面接・検査等を通じお子さんの発達状況を多角的にとらえ、保護者のご相談に応じます。

就学相談

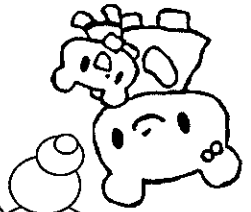
対象：幼稚園、保育園、小・中学校へ在園・在学中のお子さん
(必要に応じ、幼稚園、保育園、小・中学校へ、観察の訪問を
させていただきます。)

観察訪問

転学相談

対象：小学校・中学校へ在学中のお子さん
申し込み：保護者の方は、所属する学校へ相談していただき、学校と相談の中で案内がございましたら、福生市教育相談室へお申し込みください。
内容：面接・検査等を通じお子さんの発達状況を多角的にとらえ、保護者のご相談に応じます。

一人一人のお子さん
が楽しく、充実した学校
生活を送ることができ
るよう、お子さんのため
の支援や配慮について、
一緒に考えます。



福生市教育相談室
教育支援チーム
電話 042-551-7700
福生市北田園2-5-7
(子ども支援館2F)

月～土(祝祭日除く)
午前8時30分から午後5時15分まで



就学先決定までの流れ

勉強についていけるかな...

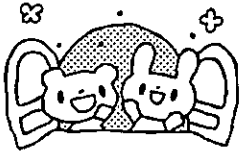
友達とうまくやれるかな...

授業中じっと座ってられない。



特別支援学級（固定学級・特別支援教室・通級指導学級）に入るためには手続きが必要です。

教育支援チームへご連絡ください



相談は、4月より受付いたします。
保護者の方が電話等で直接お申込みください。



福生市教育相談室 教育支援チーム つむぎ

< 就学相談 電話受付 >

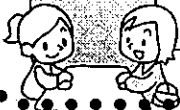
042-551-7700



<就学初期相談>

保護者

- ・面接
- ・合同見学会参加 (7月～10月頃)
- ・学校公開参加



子ども

- ・面接
- ・WISC等の発達検査
- ・在籍での行動観察
- ・学校見学・体験入学

<教育支援委員会>

◆年9回実施 7月～2月

- ①教育支援委員による行動観察
- ②就学部会による検討
- ③最終審議会判定→「教育支援相談報告書」手渡し

※通常学級/通常学級+特別支援教室(就学時)/通常学級+通級指導学級/特別支援学級(知的固定)/特別支援学級(情緒固定)/特別支援学校の判定が出ます。

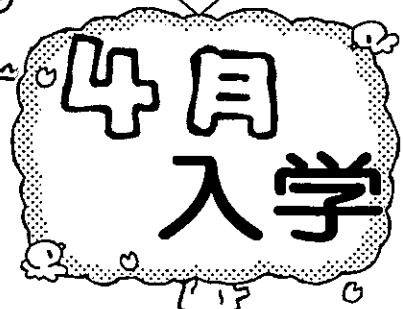
保護者による就学先の決定

<就学先決定>

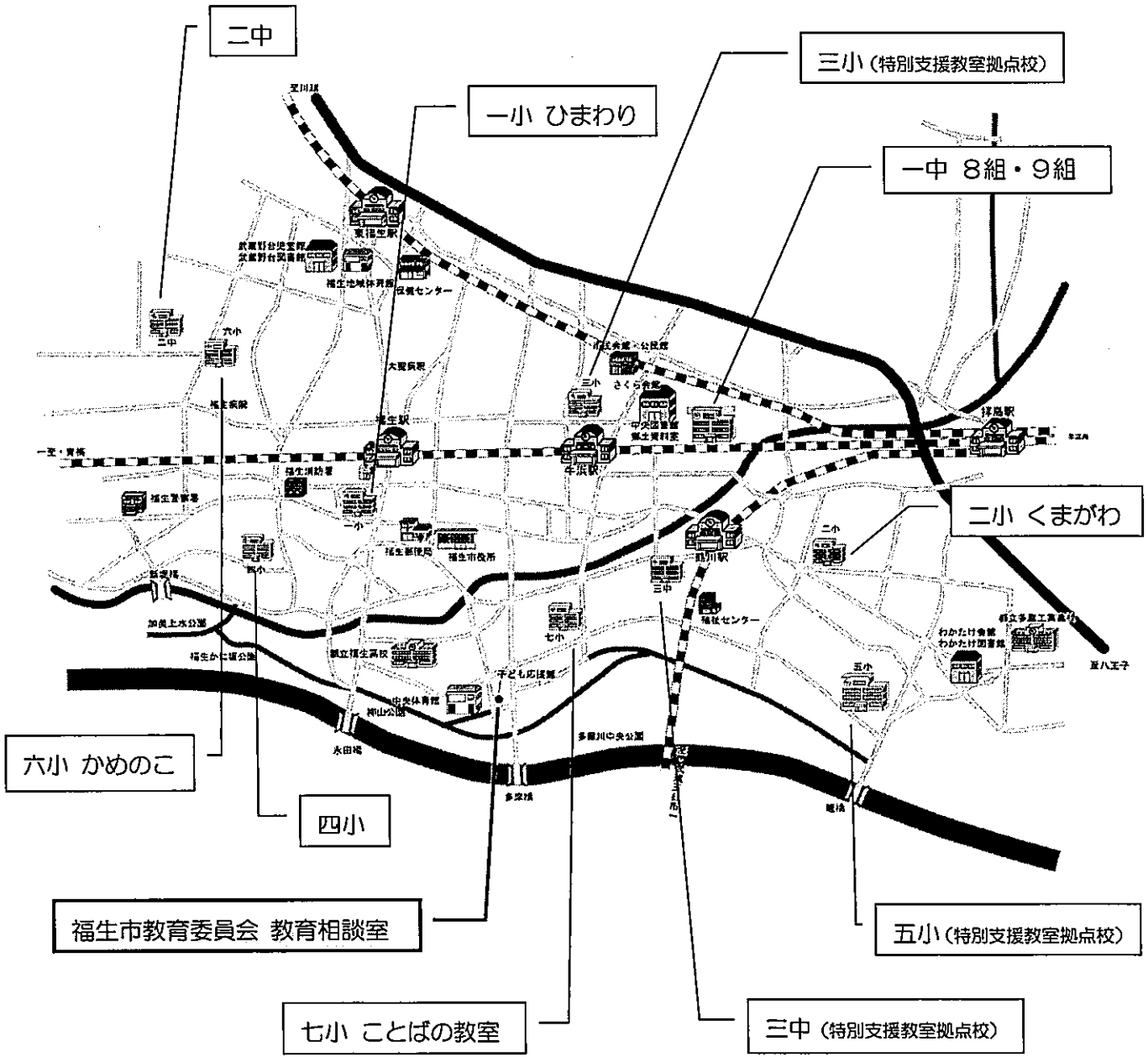
入学通知書
(1月中旬) 発送

<就学決定後の支援>

- ◎「サポートプラン」の提供(保護者・学校)
- ◎教育支援ファイルの提供(保護者・学校)
- ◎教育支援チームによる継続相談



学校案内図



お問い合わせ先

福生市教育委員会 教育相談室
 電話 042-551-7700
 福生市北田園2-5-7(子ども応援館2階)